

2015年11月8日

株式会社日本レースプロモーション

11月7日(土)～8日(日)
2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦 第14回 JAF 鈴鹿グランプリ
大会決勝結果速報

Race1は、アンドレ・ロツテラー(ペトロナス・チーム・トムス)、
Race2は、山本 尚貴(TEAM 無限)が優勝!

ドライバーズチャンピオンに石浦宏明、
チームチャンピオンにペトロナス・チーム・トムスが決定!

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦 第14回JAF鈴鹿グランプリ大会が、11月8日(日)、三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周:5.807km)にて、Race1、Race2の2レース制にて開催されました。Race1は同コースを20周、トータル116.140kmにて争われ、Race2は、同コースを28周、トータル162.596kmで争われました。

Race1は、雨の為にセーフティカースタートとなり、トップからスタートしたアンドレ・ロツテラー(ペトロナス・チーム・トムス)がそのまま走り切り、42分03秒785(平均時速:165.67km/h)のタイムで優勝しました。2位には、石浦宏明(プロミュー/セルモ・インギング)が、42分09秒680で続き、3位には、小林 可夢偉(キグナス スノコ チーム ルマン)が、42分10秒417のタイムで続きました。この結果、石浦宏明が優勝を果たせなかったために、タイトル争いはRace2に持越となりました。

Race2は、ポールポジションの山本 尚貴(TEAM 無限)がスタートからトップに立ち、52分32秒553(平均時速:179.04km/h)のタイムでポールトゥウィンを飾りました。2位には中嶋 一貴(ペトロナス・チーム・トムス)が52分38秒265で続き、3位はジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)が52分43秒877で続きました。4位に、石浦宏明が53分03秒442で続き、ドライバーズチャンピオンを決定しました。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ年間タイトルは、ドライバーズチャンピオンに石浦宏明、チームチャンピオンにペトロナス・チーム・トムスとなりました。また、ルーキー・オブ・ザ・イヤーは、小林可夢偉(キグナス スノコ チーム ルマン)に決定いたしました。

※記録の詳細は、添付「2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦 第14回 JAF 鈴鹿グランプリ 決勝正式結果」をご参照ください。



Race2にてドライバーズチャンピオンを決定した プロミュー/セルモ・インギング #38 石浦宏明

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

八 NINKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラとは？

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)(海外6国、7名:イギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、ブラジル、インド)のドライバーで争われており、各レースの成績に応じてドライバーとチームにポイントが付与され、ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位が決定いたします。

2015年シリーズ選手権 ポイントシステム

| 順位 | 優勝 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位以下 | pp |
|---------|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|------|----|
| 1大会1レース | 10 | 8 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 1大会2レース | 5 | 4 | 3 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 | 0.5 | 0 | 1 |

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量2,000cc、直列4気筒ダイレクトインジェクション、Honda HR-414EまたはTOYOTA RI4Aを使用しています。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイクです。SF14は、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードで、国内外トップドライバーにより白熱したドライビングバトルが繰り広げられています。

5. オーバーテイクシステム

エンジンに燃料リストラクター(燃料流量規制システム)を活用し、燃料供給量を一時的に上げ、通常時の約110%のパワー(約30馬力)(※1)を発生させることによりオーバーテイクをより促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1回のレースにつき原則5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色オーバーテイクランプ(リーダーズレッド)を装着しています。尚、このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

(※1)オーバーテイクシステムのパワーの上がり方は、レースによって設定が異なり、富士と鈴鹿大会は約105%、その他大会は約110%となります。

6. 公式予選 -ノックアウト方式-

公式予選はノックアウト方式(※2)で行われます。予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。Q1でベスト14位に、Q2でベスト8位に無理なく勝ち残り、Q3でベストタイムを記録して上位につけるといった流れが通常の子選運びとなりますが、今大会では、Race1の予選はQ1の結果で全19台のグリッドが決定されます。Race2の予選は、上記の方法で行いQ3の結果でグリッドが決定されます。Q1の順位がそのままRace1のグリッドとなるため、開始直後から熾烈なタイムアタック合戦となる事が予想されます。

(※2)19台エントリーの場合:Q1(20分間)で15位から19位までのスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位までのスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1-8位までの決勝レーススタート位置を決定します。

7. 決勝レース

Race1、Race2の2レース制で行なわれます。

Race1は、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5, 807m)を20周、トータル116. 140kmにて争われます。

Race2は、同レーシングコースを28周、トータル162. 596kmにて争われます。また、レース中タイヤ交換(4輪同時)のピットインが、1回義務付けられています。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

| 日程 | ラウンド/サーキット | 予選方式 | 決勝レース方式 |
|-----------|-----------------|--------|---------|
| 4/ 18~19 | 第1戦/鈴鹿サーキット | ノックアウト | 250km |
| 5/ 23~24 | 第2戦/岡山国際サーキット | ノックアウト | 250km |
| 7/ 18~19 | 第3戦/富士スピードウェイ | ノックアウト | 250km |
| 8/ 22~23 | 第4戦/ツインリンクもてぎ | ノックアウト | 250km |
| 9/ 12~13 | 第5戦/オートポリス | ノックアウト | 250km |
| 10/ 17~18 | 第6戦/スポーツランドSUGO | ノックアウト | 250km |
| 11/ 7~ 8 | 第7戦/鈴鹿サーキット | ノックアウト | 2レース制 |

8. 鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差を挟んで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトとなっている。コース全長は5. 807kmで、日本のサーキットの中で最長です。コース幅は10-16m。コーナー数は20。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速~高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして評価されています。

9. 第14回JAF 鈴鹿グランプリ / JAF グランプリ について

今大会は、昨年に引き続き一般社団法人日本自動車連盟より、「JAFグランプリ」としてのタイトルが掛けられております。

JAFグランプリは、1973年に最高峰であったF2000が全日本選手権となり、翌1974年鈴鹿サーキットでJAFグランプリとして開催されたことから始まります。その後、JAF鈴鹿グランプリとして10回の開催を数え、現在スーパーフォーミュラでチーム監督を務める星野一義氏や中嶋悟氏らがビッグタイトルを獲得しました。海外からの有力選手も参加して、いくつもの名勝負が繰り広げられてきました。その伝統の大会が、昨年28年ぶりに鈴鹿サーキットに復活しました。今年は「第14回JAF鈴鹿グランプリ」として開催いたします。

| 大会数 | 年度 | 決勝日 | 大会名 | カテゴリ | 優勝者 | 優勝車名 |
|-----|------|-------|-------------------------------------|------------|---------|--------------|
| 1 | 1974 | 11月2日 | JAFグランプリ自動車レース | F2000 | 高原敬武 | マーチ742・BMW |
| 2 | 1975 | 11月1日 | JAFグランプリレース | F2000 | 星野一義 | マーチ742・BMW |
| 3 | 1977 | 11月5日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2000 | R・バトラーゼ | シェブロンB42・BMW |
| 4 | 1978 | 11月5日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 高橋国光 | コジマ008・BMW |
| 5 | 1979 | 11月4日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 星野一義 | マーチ792・BMW |
| 6 | 1980 | 11月3日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 星野一義 | マーチ802・BMW |
| 7 | 1981 | 11月1日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 中嶋悟 | マーチ812・Honda |
| 8 | 1982 | 11月7日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 中嶋悟 | マーチ822・Honda |
| 9 | 1983 | 11月6日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | G・リース | マーチ832・Honda |
| 10 | 1984 | 11月4日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 中嶋悟 | マーチ842・Honda |
| 11 | 1985 | 11月3日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 中嶋悟 | マーチ85J・Honda |
| 12 | 1986 | 11月2日 | JAF鈴鹿グランプリ自動車レース | F2 | 星野一義 | マーチ86J・Honda |
| 13 | 2014 | 11月9日 | 2014スーパーフォーミュラ第7戦 第13回JAF鈴鹿グランプリ | スーパーフォーミュラ | | |

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦 第14回 JAF 鈴鹿グランプリ エントリーリスト

(シャシー:SF14、タイヤ:ブリヂストン)

| No. | ドライバー | 生年月日 出身地 | チーム 監督 | エンジン |
|-----|--|----------------------|--|------------------|
| 1 | 中嶋 一貴 Kazuki Nakajima | 1985.1.11 日本 愛知県 | PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀 | TOYOTA R14A |
| 2 | アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer | 1981.11.19 ドイツ | | |
| 3 | ジェームス・ロシター James Rossiter | 1983.8.25 イギリス | KONDO RACING (コンドー レーシング) 近藤 真彦 | TOYOTA R14A |
| 4 | ウィリアム・ブラー William Buller | 1992.9.17 イギリス | | |
| 7 | 平川 亮 Ryo Hirakawa | 1994.3.7 日本 広島県 | KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン) 土沼 広芳 | TOYOTA R14A |
| 8 | 小林 可夢偉 Kamui Kobayashi | 1986.9.13 日本 兵庫県 | | |
| 10 | 塚越 広大 Koudai Tsukakoshi | 1986.11.20 日本 栃木県 | REAL RACING (リアルレーシング) 金石 勝智 | Honda HR-414E |
| 11 | 伊沢 拓也 Takuya Izawa | 1984.6.1 日本 東京都 | | |
| 16 | 山本 尚貴 Naoki Yamamoto | 1988.7.11 日本 栃木県 | TEAM 無限 (チーム ムゲン) 手塚 長孝 | Honda HR-414E |
| 18 | 中山 雄一 Yuichi Nakayama | 1991.7.25 日本 東京都 | KCMG (ケーシーエムジー) 土居 隆二 | TOYOTA R14A |
| 19 | ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira | 1981.7.13 ブラジル | LENOVO TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義 | TOYOTA R14A |
| 20 | アンドレア・カルダレッリ Andrea Caldarelli | 1990.2.14 イタリア | | |
| 34 | 小暮 卓史 Takashi Kogure | 1980.8.1 日本 群馬県 | DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) 道上 龍 | Honda HR-414E |
| 38 | 石浦 宏明 Hiroaki Ishiura | 1981.4.23 日本 東京都 | P.MU/CERUMO-INGING (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路 | TOYOTA R14A |
| 39 | 国本 雄資 Yuji Kunimoto | 1990.9.12 日本 神奈川県 | | |
| 40 | 野尻 智紀 Tomoki Nojiri | 1989.9.15 日本 茨城県 | DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアンレーシング) 村岡 潔 | Honda HR-414E |
| 41 | ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan | 1977.1.14 インド | | |
| 64 | 中嶋 大祐 Daisuke Nakajima | 1989.1.29 日本/愛知県 | NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) 中嶋 悟 | Honda HR-414E |
| 65 | ベルトラン・バグエット Bertrand Baguette | 1986.2.23 ベルギー | | |

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ シリーズポイントランキング

ドライバーズ・ポイントランキング

| Po. | No. | Driver | Points | Gap | 4/19 | 5/24 | 7/19 | 8/23 | 9/13 | 10/18 | 11/8 | |
|-----|-----|-------------|--------|-------|--------|---------|------|--------|-----------|-------|--------|--------|
| | | | | | SUZUKA | OKAYAMA | FUJI | MOTEGI | AUTOPOLIS | SUGO | SUZUKA | SUZUKA |
| | | | | | Rd.1 | Rd.2 | Rd.3 | Rd.4 | Rd.5 | Rd.6 | Rd.7-1 | Rd.7-2 |
| 1 | 38 | 石浦宏明 | 51.5 | | 4 | 11 | 6 | 11 | 9 | 4 | 4 | 2.5 |
| 2 | 1 | 中嶋一貴 | 45.5 | -6 | 8 | - | 8 | 8 | 10 | 5 | 2.5 | 4 |
| 3 | 2 | A.ロッテラー | 40 | -11.5 | 10 | 1 | 4 | 5 | 0 | 11 | 9 | 0 |
| 4 | 19 | J.P.デ・オリベイラ | 34 | -17.5 | 5 | 4 | 10 | 6 | 4 | 2 | 0 | 3 |
| 5 | 16 | 山本尚貴 | 26 | -25.5 | 1 | 5 | 0 | 1 | 2 | 8 | 0 | 9 |
| 6 | 8 | 小林可夢偉 | 20 | -31.5 | 0 | 8 | 0 | 0 | 6 | 3 | 3 | 0 |
| 7 | 40 | 野尻智紀 | 19 | -32.5 | 1 | 6 | 1 | 3 | 0 | 6 | 2 | 0 |
| 8 | 7 | 平川亮 | 13 | -38.5 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 | 1 | 0 | 2 |
| 9 | 39 | 国本雄資 | 7.5 | -44 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.5 |
| 10 | 64 | 中嶋大祐 | 7 | -44.5 | 3 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | 41 | N.カーティケヤン | 6 | -45.5 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | 3 | J.ロシター | 5 | -46.5 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 13 | 11 | 伊沢拓也 | 4.5 | -47 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.5 | 0 |
| 14 | 20 | A.カルダレッリ | 4 | -47.5 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 15 | 34 | 小暮卓史 | 2.5 | -49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1.5 | 1 |
| 16 | 18 | 中山雄一 | 1.5 | -50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1.5 |
| 17 | 10 | 塚越広大 | 0 | -51.5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 18 | 4 | W.ブラー | 0 | -51.5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 19 | 65 | B.バケット | 0 | -51.5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 | 1 | 大嶋和也 | 0 | -51.5 | - | 0 | - | - | - | - | - | - |

※太字は優勝、下線はP.P.

全戦が有効

チーム・ポイントランキング

| Po. | No. | Team | Points | Gap | 4/19 | 5/24 | 7/19 | 8/23 | 9/13 | 10/18 | 11/8 | |
|-----|-------|------------------------------|--------|-------|--------|---------|------|--------|-----------|-------|--------|--------|
| | | | | | SUZUKA | OKAYAMA | FUJI | MOTEGI | AUTOPOLIS | SUGO | SUZUKA | SUZUKA |
| | | | | | Rd.1 | Rd.2 | Rd.3 | Rd.4 | Rd.5 | Rd.6 | Rd.7-1 | Rd.7-2 |
| 1 | 1,2 | PETRONAS TEAM TOM'S | 80.5 | | 18 | 1 | 12 | 13 | 10 | 15 | 7.5 | 4 |
| 2 | 38,39 | P.MU/CERUMO-INGING | 56 | -27.5 | 4 | 10 | 11 | 10 | 9 | 4 | 5 | 3 |
| 3 | 19,20 | LENOVO TEAM IMPUL | 37 | -46.5 | 5 | 7 | 10 | 6 | 4 | 2 | 0 | 3 |
| 4 | 7,8 | KYGNUS SUNOGO Team LeMans | 33 | -50.5 | 0 | 8 | 3 | 2 | 11 | 4 | 3 | 2 |
| 5 | 40,41 | DOCOMO TEAM DANDELION RACING | 25 | -58.5 | 7 | 6 | 1 | 3 | 0 | 6 | 2 | 0 |
| 6 | 16 | TEAM 無限 | 21 | -62.5 | 0 | 5 | 0 | 1 | 2 | 8 | 0 | 5 |
| 7 | 64,65 | NAKAJIMA RACING | 7 | -76.5 | 3 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 3,4 | KONDO RACING | 5 | -78.5 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 10,11 | REAL RACING | 4.5 | -79 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.5 | 0 |
| 10 | 34 | DRAGO CORSE | 2.5 | -81 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1.5 | 1 |
| 11 | 18 | KCMG | 1.5 | -82 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1.5 |

全戦が有効

| ■ 選手権ポイント | 順位 | 順位 | | | | | | | | |
|-----------|-----|-----|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| | | Rd. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 予選 | 1-7 | 1 | | | | | | | | |
| | 1-6 | 10 | 8 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| レース | 7 | 5 | 4 | 3 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 | 0.5 | |
| | 7 | 3 | | | | | | | | |

☆ドライバーズポイント

全戦の予選と決勝レースのポイントを合計する。
第7戦鈴鹿に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

☆チームポイント

各チームに所属するドライバーの決勝ポイントを合計。2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分を合計。チームポイントには、予選のポイントは与えられない。
※複数のドライバーまたはチームが同ポイントの場合、1大会の最高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

—開催概要—

- 大会名称 : 2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦
第14回JAF鈴鹿グランプリ
- 開催日程 : 2015年11月7日(土) 公式予選
2015年11月8日(日) 決勝レース[2レース制]
- オーガナイザー: 名古屋レーシングクラブ (NRC)
鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : 三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/一般社団法人 鈴鹿市観光協会/
鈴鹿商工会議所/東京中日スポーツ/中日スポーツ/中日新聞社

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

日清 NIKKI-ICHI
人気酒造

【TV放映予定】

■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。その他、再放送やレースダイジェスト番組も放送

- ・予選放送:11月7日(土)13:00～15:00 J SPORTS 4 (予定)
- ・決勝放送(本放送):11月8日(日)
 - レース1 9:45～11:30 J SPORTS 3
 - レース2 14:30～17:00 J SPORTS 3
- ・再放送:11月10日(月)19:00～22:30 J SPORTS 3 決勝再放送
 - ※他にも再放送有り。
- ・ダイジェスト:11月19日(木)25:15～25:30 J SPORTS 3 決勝ダイジェスト
 - ※他にも再放送有り。

■ BSフジ

全7戦のレースハイライトとドライバー・チームに焦点をあてたミニドキュメンタリー番組「スーパーフォーミュラ Go On!」を放送。

- ・初回放送: 2015年11月13日(金)24:00～24:55
- ・再放送: 2015年11月27日(金)24:25～25:20(予定)

■ フジテレビCS放送「フジテレビNEXTライブ・プレミアム」

全7戦のレースハイライトと、参戦ドライバーをゲストに迎えて、スーパーフォーミュラの魅力や、ドライバーの本音などを楽しくお届けするスタジオトーク番組「スーパーフォーミュラTV」を放送。インターネット有料チャンネル「フジテレビNEXTsmart」でも同時配信

- ・初回放送: 2015年11月13日(金)22:40～23:10
- ・再放送: 2015年11月15日(日)12:00～12:30

※詳しい放送スケジュールについては、各番組オフィシャルウェブサイト、もしくは「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

○映像の配信

■ GYAO!

大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

配信映像は無料動画ステーションGYAO!オフィシャルページ(<http://gyao.yahoo.co.jp/p/00830/v09524/>)から視聴可能です。

※配信日時は変更となる場合があります。

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail:media@superformula.net

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135

広報担当:中野 聖二 携帯電話:090-7203-1623

e-mail:media@jrp-inc.net

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

三 人気酒造



11/7・8
予選(SAT)決勝(SUN)

No. 11

2015-11-08 11:30

WEATHER: Rain

COURSE: Wet

国際レーシングコース 5.807km

第14回JAF鈴鹿グランプリ
2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 最終戦
SUPER FORMULA

Race1決勝 正式結果表

| Pos. | No. | Driver | Type | Team | Laps | Total Time | Delay | Gap | Best |
|----------|----------------|---------------|---------------|-------------------------------------|------|------------|------------|--------|----------|
| 1 | 2 | アントレ・ロッセラー | TOYOTA RI4A | PETRONAS TOM'S SF14 | 20 | 42'03.785 | 165.67km/h | | 1'55.401 |
| 2 | 38 | 石浦 宏明 | TOYOTA RI4A | P.MU/CERUMO・INGING SF14 | 20 | 42'09.680 | 5.895 | 5.895 | 1'55.651 |
| 3 | 8 | 小林 可夢偉 | TOYOTA RI4A | Team KYGNUS SUNOCO SF14 | 20 | 42'10.417 | 6.632 | 0.737 | 1'55.584 |
| 4 | 1 | 中嶋 一貴 | TOYOTA RI4A | PETRONAS TOM'S SF14 | 20 | 42'40.564 | 36.779 | 30.147 | 1'57.425 |
| 5 | 40 | 野尻 智紀 | Honda HR-414E | DOCOMO DANDELION M40S SF14 | 20 | 42'51.163 | 47.378 | 10.599 | 1'57.193 |
| 6 | 34 | 小暮 卓史 | Honda HR-414E | DRAGO CORSE SF14 | 20 | 42'55.028 | 51.243 | 3.865 | 1'57.627 |
| 7 | 39 | 国本 雄資 | TOYOTA RI4A | P.MU/CERUMO・INGING SF14 | 20 | 42'57.529 | 53.744 | 2.501 | 1'58.020 |
| 8 | 11 | 伊沢 拓也 | Honda HR-414E | REAL SF14 | 20 | 42'58.688 | 54.903 | 1.159 | 1'57.543 |
| 9 | 10 | 塚越 広大 | Honda HR-414E | REAL SF14 | 20 | 42'59.724 | 55.939 | 1.036 | 1'56.956 |
| 10 | 7 | 平川 亮 | TOYOTA RI4A | ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 | 20 | 43'03.446 | 59.661 | 3.722 | 1'57.798 |
| 11 | 65 | ヘルマン・バゲット | Honda HR-414E | NAKAJIMA RACING SF14 | 20 | 43'04.484 | 1'00.699 | 1.038 | 1'57.341 |
| 12 | 41 | ナレイン・カーティケヤン | Honda HR-414E | DOCOMO DANDELION M41Y SF14 | 20 | 43'05.423 | 1'01.638 | 0.939 | 1'56.742 |
| 13 | 4 | ウィリアム・ブラー | TOYOTA RI4A | FUJI×D'station KONDO SF14 | 20 | 43'09.497 | 1'05.712 | 4.074 | 1'56.931 |
| 14 | 16 | 山本 尚貴 | Honda HR-414E | TEAM 無限 SF14 | 19 | 41'29.363 | 1Lap | 1Lap | 1'57.588 |
| 以上 順位認定: | | | | | | | | | |
| 18 | 中山 雄一 | TOYOTA RI4A | | KCMG Elyse SF14 | 17 | 36'58.155 | 3Laps | 2Laps | 1'57.121 |
| 3 | ジェームス・ロシター | TOYOTA RI4A | | FUJI×D'station KONDO SF14 | 15 | 32'21.923 | 5Laps | 2Laps | 1'55.455 |
| 20 | アントレ・カルダレッリ | TOYOTA RI4A | | LENOVO TEAM IMPUL SF14 | 10 | 23'13.348 | 10Laps | 5Laps | 1'58.046 |
| 64 | 中嶋 大祐 | Honda HR-414E | | NAKAJIMA RACING SF14 | 10 | 23'13.594 | 10Laps | 0.246 | 1'57.510 |
| 19 | ジョアオ・パオロ・オリベイラ | TOYOTA RI4A | | LENOVO TEAM IMPUL SF14 | 8 | 19'03.935 | 12Laps | 2Laps | 1'58.106 |

開始時刻: 10:00'00 (SCスタートとした。)

終了時刻: 10:42'03

レース中のベストタイムは No. 2 アントレ・ロッセラー PETRONAS TOM'S SF14 1'55.401 14/20 181.15km/h

規定周回数 18

計時委員長: Hirohito HAYASHI

競技長: Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長: Kazuo HIOKI

林 裕人

松本 洋

日置和夫



11/7・8
予選(SAT)決勝(SUN)

No. 14

2015-11-08 17:40

WEATHER: Rain

COURSE: Wet

国際レーシングコース 5.807km

86/BRZ Race
Netz Vitz Race

第14回JAF鈴鹿グランプリ
2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 最終戦
SUPER FORMULA

Race2 決勝 正式結果表

| Pos. | No. | Driver | Type | Team | Laps | Total Time | Delay | Gap | Best |
|----------|-----|-----------------|---------------|-------------------------------------|------|------------|------------|--------|----------|
| 1 | 16 | 山本 尚貴 | Honda HR-414E | TEAM 無限 SF14 | 27 | 52'32.553 | 179.04km/h | | 1'56.064 |
| 2 | 1 | 中嶋 一貴 | TOYOTA RI4A | PETRONAS TOM'S SF14 | 27 | 52'38.265 | 5.712 | 5.712 | 1'56.430 |
| 3 | 19 | ジョアオ・バロ・デ・オリベイラ | TOYOTA RI4A | LENOVO TEAM IMPUL SF14 | 27 | 52'43.877 | 11.324 | 5.612 | 1'56.206 |
| 4 | 38 | 石浦 宏明 | TOYOTA RI4A | P.MU/CERUMO・INGING SF14 | 27 | 53'03.442 | 30.889 | 19.565 | 1'56.911 |
| 5 | 7 | 平川 亮 | TOYOTA RI4A | ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 | 27 | 53'07.960 | 35.407 | 4.518 | 1'56.246 |
| 6 | 18 | 中山 雄一 | TOYOTA RI4A | KCMG Elyse SF14 | 27 | 53'18.405 | 45.852 | 10.445 | 1'57.359 |
| 7 | 34 | 小暮 卓史 | Honda HR-414E | DRAGO CORSE SF14 | 27 | 53'19.542 | 46.989 | 1.137 | 1'57.120 |
| 8 | 39 | 国本 雄資 | TOYOTA RI4A | P.MU/CERUMO・INGING SF14 | 27 | 53'23.671 | 51.118 | 4.129 | 1'56.774 |
| 9 | 8 | 小林 可夢偉 | TOYOTA RI4A | Team KYGNUS SUNOCO SF14 | 27 | 53'24.212 | 51.659 | 0.541 | 1'55.965 |
| 10 | 64 | 中嶋 大祐 | Honda HR-414E | NAKAJIMA RACING SF14 | 27 | 53'29.211 | 56.658 | 4.999 | 1'57.330 |
| 11 | 10 | 塚越 広大 | Honda HR-414E | REAL SF14 | 27 | 53'29.765 | 57.212 | 0.554 | 1'57.696 |
| 12 | 20 | アントレ・カルダレッリ | TOYOTA RI4A | LENOVO TEAM IMPUL SF14 | 27 | 53'30.230 | 57.677 | 0.465 | 1'56.254 |
| 13 | 4 | ウイリアム・ブラー | TOYOTA RI4A | FUJIxD'station KONDO SF14 | 27 | 53'40.781 | 1'08.228 | 10.551 | 1'57.837 |
| 14 | 41 | ナイン・カーティヤン | Honda HR-414E | DOCOMO DANDELION M41Y SF14 | 27 | 53'41.144 | 1'08.591 | 0.363 | 1'55.809 |
| 15 | 11 | 伊沢 拓也 | Honda HR-414E | REAL SF14 | 27 | 53'46.922 | 1'14.369 | 5.778 | 1'58.033 |
| 以上 順位認定: | | | | | | | | | |
| | 65 | ヘルラン・バケット | Honda HR-414E | NAKAJIMA RACING SF14 | 21 | 41'41.958 | 6Laps | 6Laps | 1'57.525 |
| | 3 | ジェームス・ロスター | TOYOTA RI4A | FUJIxD'station KONDO SF14 | 13 | 25'56.349 | 14Laps | 8Laps | 1'57.103 |
| | 2 | アントレ・ロッター | TOYOTA RI4A | PETRONAS TOM'S SF14 | 10 | 19'49.998 | 17Laps | 3Laps | 1'57.438 |
| | 40 | 野尻 智紀 | Honda HR-414E | DOCOMO DANDELION M40S SF14 | 10 | 20'06.400 | 17Laps | 16.402 | 1'57.359 |

開始時刻: 15:19'15

終了時刻: 16:11'47

27周レースとした。(2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ統一規則 第31条10. "START DELAYED")

レース中のベストタイムは No. 41 ナイン・カーティヤン DOCOMO DANDELION M41Y SF14 1'55.809 4/27 180.51km/h

規定周回数 24

ペナルティ

No. 3 訓戒、およびペナルティポイント1点を課した。(2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ統一規則 第19条4. (ドライバ-の遵守事項) 違反)

計時委員長: Hirohito HAYASHI

競技長: Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長: Kazuo HIOKI

林 裕人

松本 洋

日蓮和夫